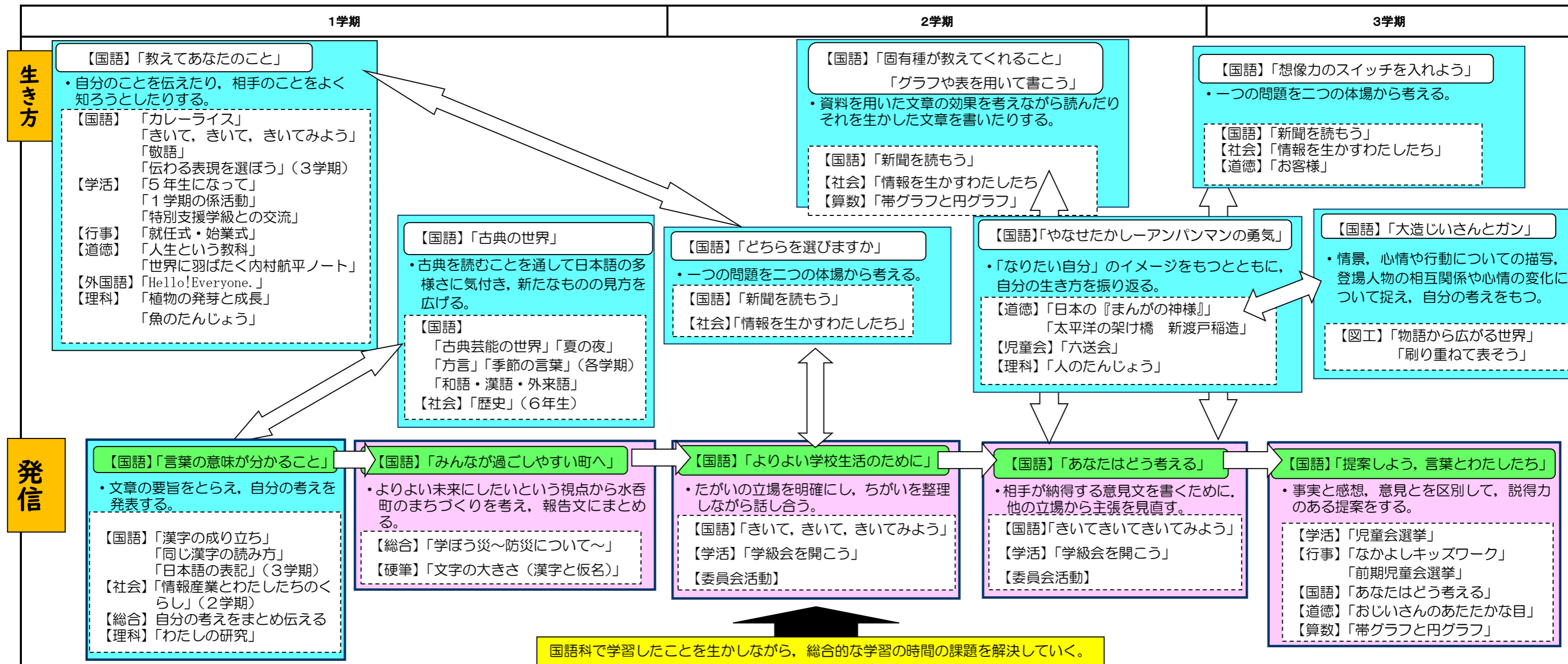


自治 自己理解 柱となる学習

	自己理解	自治力
5・6年	自分の得手不得手や考えの変容に気付くと共に、よりよい生き方について考えを深め、自分を成長させようとしている。	誰もが大切にされているという視点に立ち、自分たちで考え、学校全体のことをよくしようとすることができる。



国語科で学習したことを生かしながら、総合的な学習の時間の課題を解決していく。

【総合】「学ぼう災～防災について～」

自治 自己理解

・地域の中で協力してよりよい暮らしを送るために、様々な教科で得た知識やスキルを活用しながら、

調べる！ ↔ 実践する！ ↔ 見直す！ ↔ 発信する！

【道徳】「復こうへの願い」「もったいない」「二十分間の出来事」「この思いをフェルトペんにたくして」 【家庭科】「持続可能なくらしへ」 【保健】「犯罪被害の防止」
 【算数】「単位量あたりの大きさ」（防災の居場所づくり） 「帯グラフと円グラフ」 【学活】「土砂災害について」「身の回りの安全」 【理科】「天気の変化」「台風の天気と変化」
 【社会】「国土の地形の特色」「さまざまな土地のくらし」「自然災害を防ぐ」「情報化した社会と産業の発展」「環境を守るわたしたち」「情報を生かす産業」

【児童の姿】
 国語科を5学年の柱となる学習として設定した。その中で児童は、自分を見つめ直したり、これからの「生き方」について考えたりする学習内容と、自分が考えたことを「発信」していく学習内容が相互に行き来しながら学習していく。そして、それらの学習で身に付けた力や考え方を児童が総合的な学習の時間で発揮できるよう、教師は教科相互の関連を図っていく。